日本赤十字社診療放射線技師会　北海道地区会
第２７回総会並びに研修会　日程表

開催日時　：　平成 29 年 9 月 30 日（土）　12:00 から
　　平成 29 年 10 月 1 日（日）　12:00 まで
開催場所　：　日本赤十字社　北海道支部奉仕団活動室
　　〒060-0001 札幌市中央区北１条西５丁目
　　(Tel)011-231-7126

第１日目　平成 29 年 9 月 30 日（土曜日）

12:00　～　12:40　　受付・参加登録

座長・・・釧路赤十字病院　　多津美　敦
小清水赤十字病院　　河村　康広

12:45　～　14:30　　会員研究発表

（１）術後手関節側面撮影の検討
旭川赤十字病院　〇飯田　紘久、増田　安彦、
東堂　剛三

（２）FPD を使ったステンバース撮影補助具の検討
北見赤十字病院　〇大友　厚志、中島　勲

（３）Single　Shot　TFE 法を用いた非造影下枝 MRA の臨床検討
北見赤十字病院　〇岩橋　秀樹、大友　厚志、
小笠原　尚樹、菅野　裕幸

（４）PTE 診断における単純 CT 所見に関する検討
旭川赤十字病院　〇高田　直行

（５）心エコー検査におけるファブリー病の一例
浦河赤十字病院　〇三浦　康成、藤村　仁

（６）X 線 TV 装置における事故防止対策と業務改善の工夫
釧路赤十字病院　〇相山　幸紀

（７）放射線科における感染対策、手指衛生向上の取り組み
伊達赤十字病院　〇竹内　佳輝

座長・・・釧路赤十字病院　　熊谷　敬広

14:40　～　16:10　　技術交流

「一般撮影における創意工夫など」　　各施設発表

座長・・・北見赤十字病院　　相澤　幹也

16:20　～　17:20　　教育講演

「一般撮影の見直しの中で」

清水赤十字病院　　中川　英之　様

17:30　～　18:00　北海道地区会　総会

19:00　～　　情報交換会

第２日目　平成 29 年 10 月１日（日曜日）

9:10　～　9:30　受付

座長・・・・・旭川赤十字病院　増田　安彦
釧路赤十字病院　相山　幸紀

9:30　～　10:30　ワークショップ
「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」
「原子力災害に対する行政の体制」
「原子力災害時の救護活動における技師の役割」

長浜赤十字病院　松井　久雄　様
唐津赤十字病院　坂井　征一郎　様
名古屋第二赤十字病院　駒井　一洋　様

災害医療支援部　駒井さん

災害医療支援部　松井さん

災害医療支援部　坂井さん

座長・・・・・釧路赤十字病院　工藤　武志

10:40　～　11:10　特別講演

「これから日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会　会長

仙台赤十字病院　　安彦　茂 様

～　12:00　閉会

平成 29 年度　日本赤十字社診療放射線技師会　東北ブロック研修会開催報告

東北ブロック理事　秋田赤十字病院　三浦　司

平成 29 年 9 月 30 日（土）13 時 30 分より、秋田赤十字病院多目的ホールにおいて平成 29 年度日本赤十字社診療放射線技師会東北ブロック研修会を開催した。

東北 5 県 6 施設及び来賓を含め総勢 36 名の参加者であった。

今回は特別講演として、今年度より日本赤十字社診療放射線技師会会長になられた、安彦新会長の講演を頂き、また日本赤十字社診療放射線技師会　災害医療支援部理事である、駒井理事にも講演を頂いた。教育講演としては、富士フイルムメディカル株式会社　販売統括本部　MS 部シニアマネージャー　畔柳先生をお招きし、大変好評であった。

また今回は共同テーマを「産休・育児休暇、前中後の勤務体制」についてシンポジウム形式で行い各病院の現状を発表して頂き、当院を含め産休・育児休暇の経験が少ない病院が多い中、現実的には非常に厳しい状態であることが明らかになった。各施設のスタイルに沿ったスケジュールを構築して頂き、是非とも参考にしてもらいたい。

代表者会議では、主催理事の確認と開催場所の確認を行った。

【プログラム】

12：45　会場・受付開始

13：00　代表者会

13：25　開会の挨拶　秋田赤十字病院　三浦　司

13:30　特別講演　1　座長　石巻赤十字病院　及川　順一

「これから日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会　会長 安彦　茂　様

14：10　特別講演　2　座長　石巻赤十字病院　鎌田　賢治

「原子力災害における診療放射線技師の役割

日本赤十字社診療放射線技師　会災害医療支援部理事　駒井　一洋　様

14：55　休憩（15 分）

15:10　シンポジウム　座長　仙台赤十字病院　玉川　正志

「共同テーマ」＝「産休･育児休暇、前中後の勤務体制について」

八戸赤十字病院　大澤　哲平

盛岡赤十字病院　藤村　貴順

仙台赤十字病院　笹　優子

石巻赤十字病院　高橋　和也

福島赤十字病院　羽貝　寿子

秋田赤十字病院　大隅　康之

16：00　教育講演　　座長　秋田赤十字病院 三浦　　司

「富士フイルムの X 線画像処理の変遷と将来への期待」

富士フイルムメディカル株式会社　販売統括本部

MS 部シニアマネージャー　畔柳　宏之　先生

17：00　集合写真撮影・閉会

安彦会長講演

駒井理事講演

シンポジスト

教育講演　畔柳先生

集合写真

情報交換会

平成 29 年度　日本赤十字社診療放射線技師会　東部ブロック研修会開催報告

開催当番病院：　長岡赤十字病院　田村厚司

平成 29 年 11 月 11 日(土)～12 日(日)　長岡グランドホテルにおいて、
平成 29 年度日本赤十字社診療放射線技師会　東部ブロック研修会を開催した。

開会日直前に 2 名の欠席(那須：山下明、深谷：飯島秀信)が生じたが、最終的に 8 県 18 施設および来賓を含め 79 名の参加者であった。

今回は安彦茂新会長から会長講演を頂いた。教育講演として、群馬県立県民健康科学大学の佐々木浩二先生からは放射線治療に関するご講演、ならびに長岡赤十字病院の西原眞美子先生からは救急外来の頭部 CT で見られる重要な所見について、また特別講演としては、長岡造形大学の和田裕先生から「人間中心設計」についてのご講演を頂いた。

代表者会議では、来年度春開催の代表者会議の場所および日程、次回以降の東部ブロック当番病院の確認、ブロック委員選任方法の確認、今後のブロック研修会では会長講演と災害講演が必須となることなどを討議した。

【プログラム】

11 月 11 日(土)　　会場　4 F 蒼柴

12：30　受付開始

13：00　開会式

大会長挨拶　　長岡赤十字病院　　林　智

院長挨拶　　長岡赤十字病院　　川嶋　禎之

13：15　会長講演

「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会　　会長　　安彦　茂　様

13：45　教育講演

「イメージガイドによる放射線治療」

群馬県立県民健康科学大学　　教授　　佐々木　浩二　様

14：35　休憩

14：45　一般演題 I

座長　長岡赤十字病院　　菅井　正之

長岡赤十字病院　　神林　裕司

1　一般撮影における読出し装置の違いによる検査時間短縮の検討

日本赤十字社医療センター　　木本　茜緒

2　DMQC ファントムを用いた当院 MMG 装置における CNR・SCTF 管理幅の検討

長岡赤十字病院　　本永　みなみ

3　放射線科におけるインシデント・ヒヤリハット報告への取り組み

さいたま赤十字病院　　石脇　剛弘

４　線量校正における気圧計の精度管理

成田赤十字病院　　髙橋　夕希子

５　頭頸部治療におけるセットアップエラー低減の取り組み

長岡赤十字病院　　野村　知広

15：35　休憩

15：50　特別講演　　座長　長岡赤十字病院　　林　智

「人間中心設計　Human Centered Design」

長岡造形大学　　学長　　和田　裕　様

16：40　休憩

16：50　施設代表者会議　　進行　　林　智

議長　　東部ブロック理事　　大貫　信也

18：00　情報交換会　　会場　２F 悠久

11 月 12 日(日)　　会場　２F 悠久

8：30　開場

9：00　教育講演　　座長　　長岡赤十字病院　　入澤　佳弘

「救急疾患の頭部 CT　　見逃してはいけない所見、放っておいてよい所見」

長岡赤十字病院　　西原　眞美子

9：50　休憩

10：00　一般演題Ⅱ　　座長　　長岡赤十字病院　　若月　栄介

長岡赤十字病院　　飯浜　忠俊

６　私が受けた新人教育～急性虫垂炎～

深谷赤十字病院　　小島　萌

７　胸腹部撮影における撮影条件の検討

那須赤十字病院　　中澤　佑介

８　当院における全身外傷 CT プロトコールの検討

武蔵野赤十字病院　　齊藤　大輝

９　ASSET における展開エラー発生条件の検討

武蔵野赤十字病院　　東　大樹

10　3D-ASL の活用と展望

日本赤十字社医療センター　　松本　ジョエル

10：50　休憩

11：00　次回当番病院挨拶　　さいたま赤十字病院

11：30　閉会式

日本赤十字社診療放射線技師会

第8回中部ブロック業務研修会 開催報告

当番病院 長野赤十字病院

例年ですとまだまだ暑い日が続く9月ではありますが、今年は比較的過ごしやすい気候に恵まれ、前日までの雨模様もすっかり晴れ渡り、長野市において第8回中部ブロック業務研修会を平成29年9月9日（土）・10日（日）の2日間にわたり開催いたしました。

準備の遅れなどがあり、会員の皆様には大変なご迷惑をおかけしたことと思いますが、中部ブロック赤十字病院から会員65 名の参加を得て、開催にこぎつくことができました。

1日目は、「救急外来で放射線技師に期待すること」と長野赤十字病院第一救急部副部長 山川 耕司先生に実症例を交えてお話しいただきました。また、「働きやすい労働環境を考える」で大宝労務安全研究所所長の大田吉宝先生からお話をいただきましたが、普段あまり意識しない労働問題について考える機会が持てたと思います。他に会員発表5 題と分科会にて各モダリティで情報交換を行いましたが、とても活発な意見交換となり時間不足で残念な事態となりました。是非こうした機会が増えれば、施設間の交流も進み、有意義なネットワークが築けるのではないでしょうか?

2日目は.今回初の試みとして、日本赤十字社診療放射線技師会本部より講師の先生をお迎えし、原子力災害における赤十字社の役割などを講演していただきました。今後の新たな取り組みを垣間見ることができましたが、実際の対応を考えると不安や疑問がわいてきます。最後は診療放射線技師の教育について意見交換を行いました。結論が出る問題でもなく、施設によって対応が異なる場面も多いと思います。事前のアンケート調査も行いましたが、自施設に帰って何かしら改善のきっかけになれば幸いと思います。

会員各位のご協力により、無事閉会となりました。甚だ簡単ではありますが、開催報告をさせていただくとともに、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

報告　放射線科部技師長　大塚 亨

長野赤十字病院全景

日本赤十字社診療放射線技師会
第８回中部ブロック業務研修会

日本赤十字社診療放射線技師会
第８回中部ブロック業務研修会

日本赤十字社診療放射線技師会

日本赤十字社診療放射線技師会

第8回中部ブロック業務研修会

開催日　　平成29年9月9日（土）13：00～10日（日）13：00
会　場　　長野赤十字病院 第二研修ホール

【プログラム】
9月9日（土）
12：30 受付
13：00 開会式
当番病院挨拶　　長野赤十字病院　　放射線科部技師長　　大塚 亨
開催施設代表者挨拶　　長野赤十字病院　　院長　　吉岡 二郎
主催者挨拶　　日本赤十字社診療放射線技師会
中部ブロック理事　　茅野 充治（安曇野赤十字病院）
来賓挨拶　　日本赤十字社診療放射線技師会
会長　　安彦 茂（仙台赤十字病院）

13：30　講演会　　座長 室賀 浩二（長野赤十字病院）
「救急外来で放射線技師に期待すること」
講師　長野赤十字病院第一救急　部副部長　山川 耕司先生

14：30　演題発表　　座長 山城 晶弘（長野赤十字病院）
１．新人教育プログラムの再構築
長野赤十字病院　　岡村 佳奈
２．放射線検査におけるパニック値の設定
名古屋第二赤十字病院　　有賀 英司
３．当院における前立腺MRI 検査の適正化
金沢赤十字病院　　高平 義之
４．TSE-DIXON 法における脂肪ファントム成分の影響
長野赤十字病院 高林 融
５．つなぎ目照射における最適なMLC の配置について
伊勢赤十字病院　　岩城 健悟

15：30　講演会　　座長 大塚 亨（長野赤十字病院）
「働きやすい労働環境を考える」
労働における法的裏付けを学んでみましょう
講師　大宝労務安全研究所　所長　大田 吉宝先生（社会保険労務士）

16：30　　分科会（各モダリティ）および 職場責任者会議

職場責任者会議

放射線治療　　「安定的な放射線治療の提供への取り組み」

MR　　「安全管理（金属・造影剤）」

CT　　「造影CT と教育体制」

核医学　　「SPECT/CT の運用方法」

一般撮影　　「一般撮影を見直してみよう」

17：30 移動

18：30 情報交換会 ホテル信濃路

9月10日(日)

9：00　　講習会　　「原子力災害における診療放射線技師の役割」

内 容 「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」

「原子力災害に対する行政の体制」

「原子力災害時の救護活動における技師の役割」

講 師 坂井征一郎先生（唐津赤十字病院）

高本研二先生（松山赤十字病院）

駒井一洋先生（名古屋第二赤十字病院）

10：00　　討論会　　司会 大塚 亨（長野赤十字病院）

「診療放射線技師の教育について考えてみましょう」

・業務拡大に伴う統一講習会

・臨床実習生の教育

・新人教育 等

12：30 閉会式

主催者挨拶 日本赤十字社診療放射線技師会

中部ブロック理事 茅野 充治（安曇野赤十字病院）

次期開催施設挨拶 富山赤十字病院 課長 四十九 一嘉

当番病院挨拶 長野赤十字病院 放射線科部技師長 大塚 亨

記念撮影

平成 30 年 2 月吉日

日本赤十字社診療放射線技師会

高槻赤十字病院 放射線課

第 26 回日本赤十字社診療放射線技師会

近畿ブロック研修会開催報告書

標題の会が、別添プログラムのとおり、開催されましたので報告します。

平成 30 年 2 月 24 日（土）12：00 ～ 25 日（日）12：00　高槻赤十字病院が開催担当施設となり、ホテルメルパルク大阪 ボヌールにおいて開催しました。

今年度から他ブロックの皆様にもご参加を呼び掛ける形式となり、日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂様、災害医療支援部 講演者　駒井 一洋様をはじめ 7 名の方にご参加いただき、総勢 87 名での開催となりました。

1 日目

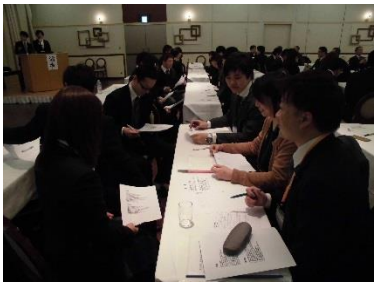
【院長挨拶】

【安彦会長 挨拶】

【特別講演】

【会員発表】

【コンセンサスゲーム】



【情報交換会】

会員発表、コンセンサスゲームの間、平成 29 年度 第 2 回近畿ブロック施設代表者会議が、会長にも参加していただき 16 名で行われました。

2 日目

【災害医療支援部講演】

【キヤノンメディカル（株)講演】

国際災害救護、原子力災害救護について、災害医療支援部の皆様に、また、高精細 CT、MRI について、キヤノンメディカル（株)の方に講演していただきました。

日本赤十字社の診療放射線技師であることに感謝し、今後、業務に励むにあったって、多くの仲間がいることを実感でき、有意義な 2 日間を過ごすことが出来たかと思います。

以上

平成 29 年度日本赤十字社診療放射線技師会　中国・四国ブロック研修会　報告書

1. 日時：2017 年 12 月 9 日 14 時～17 時 50 分．10 日 9 時～12 時
2. 会場：松江赤十字病院　講堂
3. 参加者数：50 名
4. 開催概要

【会長講演】20 分
「日本赤十字社診療放射線技師会の現状と課題」
日本赤十字社診療放射線技師会　会長　安彦茂
【災害支援部講演】60 分
「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」
「原子力災害に対する行政の対策」
「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」
災害支援部　駒井一洋（名古屋第二赤十字病院）
高本研二（松山赤十字病院）
【研修会企画】
「被災施設への放射線部門業務支援について考える」
・基調講演「被災経験施設からの考察」
神戸赤十字病院　浅妻厚
・特別講演「熊本地震病院支援を経験して～支援の連携とマネージメント～
松江赤十字病院　看護師　野津栄子
・シンポジウム
一般撮影から　高知赤十字病院　小松克也
CT 検査から　徳島赤十字病院　矢野朋樹
MRI 検査から　高松赤十字病院　石井寛人
転職経験から　松江赤十字病院　岩田幸子
・グループワーク（グループディスカッション・成果発表）
【施設見学】　希望者

5. 内容

・　研修会のメインテーマを「被災施設への放射線部門業務支援について考える」とした．
・　日本赤十字グループでのコメディカル部門の災害時病院支援について今後本社と技師会とで推進されることから本テーマを取り上げた．
・　基調講演では、23 年前の阪神淡路大震災での経験に基づいての考察を聴講した．この震災では放射線部門において業務支援が行われたのとの事であり、スタッフの少ない中小規模病院においては発災直後の急性期の業務支援が必要との事であった．
・　特別講演では、東日本大震災と熊本地震で看護師として病院支援に参加された経験を

聴講した．実際の業務や生活環境、派遣にあたっての準備、コーディネータの重要性などの内容であった．

- シンポジウムでは、はじめに一般撮影・CT・MRI 部門における業務支援の可能性と課題について発表していただいた．装置の違いへの対応、マニュアルの必要性、副作用など緊急時の対応、加えて MRI においては安全性に関する各種運用などが課題との事であった．次に、転職経験から他の施設で業務する事について考察をしていただいた．電子カルテや RIS については本質的に同じであるため、説明を受ければ大きな問題はないのではとの事であった．また装置が同じである場合であっても、細かい撮影法や手技が異なるので注意が必要であり、その場合の対応としてマニュアルが一助になるとの事であった．
- グループワークは、一班 7 名とし 6 班に分かれあたえられたテーマに沿ってディスカッションを行い、結果を発表していただいた．テーマは、①支援を想定して自施設・自分自身が何を知っておきたいか、何をしておくべきか、②自施設が受援の立場として事前に何をしておくべきか、要望は何か、③施設業務支援体制を構築するにあたり何が必要か、とした．基調講演、特別講演、シンポジウムの内容を発展させ活発な意見が展開された．受援病院の診療体制として支援者が業務を行っている事を周知させておく必要性があるとの意見もあった．また、非常時運用の構築が必要との意見もあった．

6. 所感

- 全体として共通性のある内容であり、活発な意見交換があった．グループワークでは班構成を年代別としたため、世代ごとの特徴を感じることができた．
- 今回の研修会の内容が、今後の施設での取り組みや技師会での取り組みに反映されることを願いたい．

報告者　松江赤十字病院　加藤秀之

第１８回日本赤十字社診療放射線技師会九州ブロック研修会を１０月７日、８日の両日、唐津赤十字病院佐野講堂にて､九州ブロッツク９施設４３名の参加の下開催いたしました。

安彦会長、災害支援部駒井理事、松井技師にはお忙しい中、遠方よりご参加いただき感謝申し上げます。安彦会長よりの日本赤十字社診療放射線技師会としてのビジョンをお示しいただきました。

安彦会長　講演

メディカルイラストレーション作品閲覧

災害医療支援部講義　駒井理事

参加者記念撮影

講演、講義していただいた先生方、研究発表していただいた会員の皆様、また、開催施設唐津赤十字病院スタッフの皆様に感謝申し上げます。